

第21回モントリオール議定書締約国会合(MOP21)の場で、わが国のフロン対策技術が話題を呼んでいる。経済産業省がノンフロン技術の展示・説明会を企画、三洋電機やアサダ(本社・愛知県)がCO₂冷媒技術や冷媒分解装置を出展し、「他の多くのハイドロフルオロカーボン(HFC)応用商品にとって代わられる」技術・経済評価パネル共同議長のアスファン・アンダーセン(博士)と高い評価を得た。オゾン層保護はもとより、地球温暖化防止にも寄与する技術として日本の技術の優位性が示され、今後幅広く活用されることへの期待が高まっている。

オゾン層保護

国連全加盟国のウィー

ン条約およびモントリオ

ール議定書の批准、途上

国における特定フロン規

制が来年始まるなど、世

界のオゾン層保護対策は

次の一歩へと進みだして

いる。ただ近年は地球温

暖化対策とリンクして議

論されることが多く、温

日本の技術、MOP21で脚光

暖化係数の高い代替フロンHFC対策が大きな課題となってきた。今年4～8日にエジプトで開催されたMOP21においても、HFC削減が可能かどうかについて優先的な議論が行われた。

こうした世界的な動向をにらみ、経産省は温暖化防止に向け、クロロフルオロカーボン(CFC)、ハイドロクロロフルオロカーボン(HCFC)をHFCに代替するのではなく、ダイレクトにノンフロン技術に転換する取り組みを推進してい

る。MOP21でノンフロン技術の展示・説明会を(アクアテック、荒川化



三洋電機の展示コーナー

開催したのもこの一環で、三洋電機とアサダの製品展示とともに、日本

温暖化防止にも寄与

学工業、花玉、サクラ種機)の洗浄技術なども紹介された。

三洋電機は、CO₂ノンプレッサーやCO₂冷媒ショーケースなどを展示。ノンフロン冷媒を使用しただけで、より良い冷蔵効率と高いエネルギー効率を実現している。

現在市場が求めている本当の製品(アンダーセン博士)と高い評価を受けた。アサダは小型の冷媒分解装置、冷媒回収・再生装置を出展し、「1台準備すれば、各地域を移動しながら効率的にオゾン層破壊物質を破壊できる(同)と、今後対策が求められる途上国などで有用な技術として注目を集めた。

三洋電機など ノンフロン先端製品出展